

Press Release

(行事・催し物)

件 名	日本遺産「炭鉄港」に関わる学習活動の公開	
実 施 日	7月 5日 (金)	
タイムスケ ジュール (詳 細に記載願います)	日 時	内 容
	7月 5日 (金) 13時15分～ 14時05分	
場 所	美唄市立美唄中学校	
主 (共) 催		
開催の趣旨	「炭鉄港」が日本遺産認定を受けたことを踏まえ、近代北海道を築く礎となった三都、空知(石炭)、室蘭(製鉄)、小樽(港湾)を、石炭・鉄鋼・港湾・鉄道というテーマで結ぶ、北の産業革命のストーリー「炭鉄港」について、教科書の内容と関連付けながら生徒が身近な地域教材として扱い、地域への愛着と誇りを高め、未来志向へと考えが発展していくことをねらった学習を行う。	
内 容	令和元年(2019年)5月20日に、文化庁から、「炭鉄港」が日本遺産として認定されたことを踏まえ、空知教育局では、日本遺産「炭鉄港」として認定された建造物や、郷土の博物館・資料館の資料、空知総合振興局が作成したDVDやリーフレット、各市町教育委員会が作成した副読本等を活用して、小学校社会科第3学年「市の様子の変り変わり」や第4学年「県内の伝統や文化、先人の働き」、小・中学校及び高等学校の「総合的な学習(探究)の時間」等において、北海道や空知管内のふるさとを学ぶ教育活動として推進するよう通知している。 また、7月17日は「北海道みんなの日(道みんなの日)」でもあることから、この時期に併せた「炭鉄港」の学習を呼びかけている。 授業者 鹿糠 昌弘教諭(空知社会科教育研究会事務局長)	
参 加 対 象	美唄市立美唄中学校 第3学年2組	
参 加 人 数	32名	
備 考	本授業は、日本遺産「炭鉄港」を“ふるさとを学ぶ教材”にしたものであり、当日の取材と報道についてよろしくお願いします。 なお、事前に取材の連絡をいただくと幸いです。	
担 当 課	指導室	係 担当 村上
	電話	0126-62-3130 (内線 2712)